

長崎県教育庁「心に響く人生の達人セミナー」講演録

演題 「人の出会いとは」

— TO DO GOOD TO BE GOOD —

東部重工業株式会社 代表取締役社長 吉田 牧男



人の出会いとは

碰 → 結 → 縁 → 絆

自分の意思で求めてこそ「出会い」はある

TO DO GOOD TO BE GOOD

於 長崎県立佐世保南高等学校 - 2004/10/20(水)

I - はじめに

II - 「出会いとは」

1. 「出会い」の進化 碰 → 結 → 縁 → 絆
2. 「出会い」のパターン 「縁」- 血、地、学、人、智、電 ……
3. 地球・世界人口 63億人の中での可能性
4. 歴史や文化・地勢学と地政学的見地からの範囲
5. 日本・中国・欧米の生き立ちや宗教観からの見方
性善説、性悪説 - 遊牧、農耕、狩猟民族
6. 哲学者 アランのことば - フランスの一高校教師
7. 「運・ツキ」 - 運が人を選ぶ、選ばれるためのヒント
- ツキを呼ぶための原則

III - 成功を取めた人の「出会いとは」

1. 米大リーグ「イチロー」はどうして安打262本(84年ぶりの新記録)を打てたのか
仰木監督、伴侶(弓子夫人)、鍛錬・努力、自己改革、向上心の継続
2. 日本のプロ野球界では - ヤクルト古田選手会長、中日落合監督のオレ流

IV- 「私の出会い」

- ・ 私・個人の軌跡 - 同じ仕事で40年 世界中に展開
1960年代 - 1970年代 - 1980年代 - 1990年代 - 2000年代

V- 現況のとらえ方「出会い」 - 情報の受け方と選択眼(動態感受力)

1. 日本の国力とは
国際競争力、経済安全性、GDP、GNP、GNI、国の借金
2. 人口の推移と年齢別人口分布
平均寿命、平均余命、家族構成、18才人口と大学数
3. 需要・供給の仕組みと生産自給率の選択と重み
日本、アメリカ、中国や他の国との比較



人 出合いとは

■ TO DO GOOD TO BE GOOD

よいことをしようとすればよりよく自分を磨き、
よい人でなくてはならず それには
よい人に出会わなければならない
良き「人」に出会い、良き「人」に教えられ、
良き「人」に支えられ、良き事をする「人」に成り、
良き「人」に報いる。



VI- これからの考え方

1. エネルギー源と許容生存環境との関連
2. 「フリーター」「ニート」(NEET) とのちがいがい
3. N. Q. (Network Quotient) 共存指数/思いやり
4. 5W + 5H - 5W + HOW (TO DO、TO BE、FORESEE、MANY、MUCH)
5. 「モノづくり」は日本人の原点

VII- 同窓会(柏葉会)での出会いの大切さ

1. 春の高校バレー全国大会優勝までの流れ
3/21 初戦(二回戦)・激励会 ~ 3/26 全国制覇
2. 柏葉会の組織づくりと継承への願い

VIII- 「夢」と「望み」



東京柏葉会 会長 - 昭和32年(1957)卒業生/9回生
(長崎県立佐世保南高等学校東京同窓会)
吉田 牧男

VII 同窓会(柏葉会)での出会い

私達の佐世保南高校は本年(2004/平成16年)第56回卒業生を送り、旧佐世保中学時代からの伝統を継承してきている名門校です。

「柏葉会」同窓会組織は20,000人以上になると思われます。

本部(佐世保)はじめ各地に支部を展開しており、「東京柏葉会」は14年前に結成・スタートしましたが、現在名簿上判明している人数は半分位と思われ、約2,500名に案内等を送付しています。

東京では毎年7月第2土曜日に目白「椿山荘」で総会を開催(同日総会前に卒業生講演会も開催)していますが各同期会はもっと活発に「友好」・「出会い」を企画し、活動しております。

又、長崎県下「在京同窓会の集い」等を通じ、県内の他校とも友好を深めております。



- 1 春の高校バレー全国大会優勝までの流れでの「出会い」

県代表校として九文と共に男女アベック出場が決まり、受験校でもありスポーツ全国大会出場応援体制も未整備でしたが、シード校で2回戦(初戦)3/21の応援と試合後の激励会から連日のOB達の応援と、3/26全国制覇まで東京・代々木体育館に1,000人ものOB達がスタンドを埋めた大応援団はグリーンのハッピーの色も鮮やかに映り壮観でした。

東京柏葉会としても当初より手探りで、とにかく何かをアピールしようという発想で「ハッピー」や応援グッズも急遽準備して、忘れかけていた組織の一体感を呼び起こし、又、「元気の源」をもらったスポーツのみが有する爽快な充実感を味わうことが出来ました。

この間、僅か一週間でしたが、実に多くの人達との「出会い」に恵まれ、全てのシーンでドキドキ、ウキウキ、ハラハラと、「ときめき」に似た新鮮な感性を引き出してくれた「幸せ」を覚えました。

独特の「スポーツ」でのメジャーな予期せぬ展開への「リズム」と「感動の余韻」を体感することが出来ました。

- 2 柏葉会の組織づくりと継承への願い

同窓会「柏葉会」は在校生の皆さんも、今後卒業してから末永く関わりあっていくものと考えております。

これからはIT時代、インターネットやメール等色々な方法や手段でアクセスして活用することができます。

本当の利用価値や「出会い」の大切さは、これから皆さんが佐世保を離れてからが、より重要なものとなるでしょうが、東京をはじめ全国各地や全世界各地にも同窓生は活躍しています。

どのように活用していくかは皆さん方の提案や働きかけで展開できると思います。

東京柏葉会では来年4月下旬頃に在京新人歓迎会を企画しています。又、7月9日(土)第15回総会にも招待させていただき所存で居ります。どうかあらゆる機会を活かして良き「出会い」としてください。

同じ高校で過ごした故郷の同窓生という「学縁」を、皆が色々な場面で活用出来得る組織に育成したいと考えています。

南高生であることの誇りと自覚を今のうちに考えて欲しいものです。郷土に対する思いは後に更に深くなることは事実です。だからこそ今の南高での生活を有意義なものにしていただきたい。



VIII

「夢」と「望み」

人の能力は才能は1%で99%は熱意である

- 小さな夢を持って、そして強く望み実現せよ
- 日々の少しずつの努力が「まさか」の時に身を助ける
(直接習わずともいきなり出来るようになる)
- 動画でなく静止画や本を見て、眼をつぶり、耳をすまし
想像力・発想力・応用力を鍛えよ
- 自分の意思で能動的熱意を持ち続けて働きかけよ
- 「見つける力」があれば「望み」を引き寄せられる
- 完全主義は求めず、気持ちに常に**80%**の余裕を持って
- 「感激力」「感動力」「感謝力」をつけよ